

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成 25 年度取組内容

重点取組項目	平成 25 年度取組内容 (下線は 25 年度新規項目)	平成 24 年度	
		取組内容 (第 3 四半期まで)	成果と課題 (◇成果・◆課題)
1 東日本大震災津波からの復旧・復興に向けた取組			
1-(1) 被災した病院の再建 に向けた検討 【全課室】 (経営管理課)	<ul style="list-style-type: none"> ○大東病院の再建に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度の入院再開に向け、管理棟増築他整備工事を行う。 <ul style="list-style-type: none"> 4 月～5 月 入札手続 6 月～3 月 整備工事 ○沿岸部3病院の再建に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・平成 26 年度以降の工事着手にむけ、用地買収・造成等について地元市町と協議を進めるとともに、工事設計業務に着手する。 ○被災病院及び被災地域の基幹病院等の診療機能の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・被災地域の県立病院からのニーズ把握(随時) ・関係大学に対する継続した派遣要請(9月) ・他県等からの即戦力医師の招聘活動(随時) ・大東病院の再建に係る医師確保(12月まで) ・招聘医師への定期的な訪問の実施(5月、11月) ・<u>内陸部病院から被災病院・被災地域病院に対する診療支援を含む県立病院間の支援策を実施するための後期研修プログラムの見直し等を「医師確保対策検討委員会」で検討(年度末までに決定)(会議:6月、9月、12月、2月)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○大東病院の再建に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・大東病院の今後のあり方についての意見交換会開催(3回:5/15、8/6、9/12) ・被災地域医療再生検討委員会における協議(4回:6/15、7/27、9/4、10/9) ・大東病院整備方針決定(9/27) ・大東病院増築、改修等工事設計業務委託契約(12/26) ○沿岸部3病院の再建に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・被災地域医療再生検討委員会における協議(5回:6/15、7/27、9/4、10/9、11/30) ・建設候補地について、地元市町と協議 ・各保健医療圏における医療提供体制の再建、医療計画見直し等に係る検討会に参加(気仙 5/30、8/1、釜石 5/16、8/7、宮古 5/29、8/2) ・整備の基本的な考え方を説明(気仙 12/18、釜石 12/25、宮古 12/26) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇大東病院の整備方針決定、工事設計着手等、入院再開に向けた取組を進めた。 ◇沿岸部 3 病院の整備方針の検討
1-(2) 東日本大震災を契機 とした災害時における 対応 【全課室】 (経営管理課) (医師支援推進室)	<ul style="list-style-type: none"> ○被災病院及び被災地域の基幹病院等の診療機能の確保 1-(1)へ ○災害時における電気、通信手段等の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・非常用発電設備の整備(工事:4月～) 対象:中央、釜石、胆沢、中部 	<ul style="list-style-type: none"> ○被災病院及び被災地域の基幹病院等の診療機能の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・高田病院の小児科及び整形外科に関する診療体制等については、随時病院の要望等を確認しながら医師招聘を行っている。 ・岩手医科大学地域医療支援委員会に対して医師派遣要請書を提出(10/9) ・他県等からの即戦力医師の招聘活動実績 <ul style="list-style-type: none"> 面談:287件、病院見学等立会い:26件、平成 24 年度採用 21 名(昨年度実績 22 名) (うち被災地域 6 名:大船渡 1、釜石 1、宮古 1、高田 2、大槌 1) ○災害時における対応の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・DMAT 装備品等の整備(H24 年度補助事業) <ul style="list-style-type: none"> DMAT 体制整備事業補助金交付契約締結(H24.11.19 付) 装備資機材については、該当病院に購入事務の実施を指示(H24.11.22) 移動用車両については、業務支援課において納入業者の入札を実施(納入 3 月中) ○岩手県災害対策本部医療部運営要領及び医療局災害時対応マニュアル検討 <ul style="list-style-type: none"> 上記要領及びマニュアル(素案)作成 <ul style="list-style-type: none"> ・「震災の記録」は、他団体の刊行物等の状況等から独自作成は見送り。 ・非常用発電機設備の整備:基本設計完了(中央、釜石、中部(12/25 完了)、胆沢(~1/21)) 衛星携帯電話等の整備方針決定(8/24)※補助要綱を医療推進課と協議中 	<ul style="list-style-type: none"> ◇被災地域病院への即戦力医師の招聘数:6名 ◇県立病院間において現状の体制で実施可能な支援策の決定(圏域外を含む複数の病院による一体的支援) ◆医師の絶対数の増及び地域偏在・診療科偏在の緩和 ◆招聘した即戦力医師の長期定着 ◆内陸部の病院から被災病院及び被災地域病院に対する診療策の構築 ◇非常用発電設備整備に係る設計委託及び工事入札事務の実施 ◇地下水の利活用に係る方針決定(3 月予定) ◇衛星携帯電話配備(納入 3 月中) ◇DMAT 装備品等整備(納入 3 月中)

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成25年度取組内容

重点取組項目	平成25年度取組内容 (下線は25年度新規項目)	平成24年度	
		取組内容(第3四半期まで)	成果と課題(◇成果・◆課題)
1-(3) 職員の生活環境の整備 【経営管理課】 【職員課】	<ul style="list-style-type: none"> ○職員公舎の修繕等 <ul style="list-style-type: none"> ・公舎入居状況の把握等(8月) ・職員公舎の修繕(随時) ・被災地域職員公舎整備(工事入札事務:4月～) 対象:大船渡、釜石 ・被災病院再建に合わせた職員公舎整備計画の検討(～3月) ○被災職員等に対するメンタルヘルスサポート <ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス相談室(随時) ・メンタルタフネスセミナー(8～10月) ・メンタルヘルスセミナー(新任管理監督者対象)(6月) ・ストレスチェック実施(第1回定期健診時期(5月))、要配慮者等を対象としたカウンセリング ・研修の実施(7～8月) ・相談窓口案内 ・上記取組推進周知リーフレット全職員向け配付 	<ul style="list-style-type: none"> ○被災地域職員公舎整備に向けた協議等 <ul style="list-style-type: none"> ・入居状況調査(7月) ・設計委託業者選定 (大船渡)11/30 公告,12/18 開札,12/26 契約締結 (釜石)12/7 公告,12/26 開札,1/9 契約締結 ○医療局研修におけるメンタルヘルス相談室事業の周知(12月末までの実施件数3件) ○メンタルタフネスセミナーの実施(受講者合計79名受講(8月～10月)) ○ストレスチェックの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・実施通知(10月) ・チェックシートの配布及び回収(6,092人回答、収率91.7%:11月) ・個人及び所属へ集計結果の配布(12月) ○共済、互助会等による各種支援 <ul style="list-style-type: none"> ・給付実績6件:1,900,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ◇被災地域職員公舎整備に係る設計委託実施(大船渡、釜石) ◇タフネスセミナー受講者数79名(H23:70名) ◇ストレスチェック回収率91.7% ◇共済、互助会等による生活再建支援 H23 291件 114,550,000円 H24 6件 1,900,000円 (H24.1現在) ◆相談室利用の促進(H24:3件(～12月)、H23:4件) ◆メンタルサポートの定期的・継続的な取組が必要
2 県立病院間の役割分担の明確化と特色ある医療の提供			
(1) 病院群の一体的・効率的な運営			
2-(1)-① 一体的運営の円滑化 【全課室】 (職員課)	<ul style="list-style-type: none"> ○病院給与事務担当者のスキルアップ <ul style="list-style-type: none"> ・給与事務担当者研修会の実施(7月) ・初任者用給与事務マニュアルの作成(4月) ○給与事務の改善 <ul style="list-style-type: none"> ・給与事務担当者との意見交換の実施(7月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○盛岡、岩手中部、久慈圏域の病院等職員(約1,700人)を集約し、全職員分の本庁への集約を完了(4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇病院担当者の事務軽減 ◆病院給与事務担当者のスキルアップ
(2) 地域の状況や各病院の特色などに基じた各病院が担うべき役割と機能の発揮			
2-(2)-① 地域診療センターの円滑な運営 【全課室】 (経営管理課)	<ul style="list-style-type: none"> ○運営協議会等における協議(必要に応じ) <ul style="list-style-type: none"> ・地域診療センターの現状、課題等について、必要に応じて圏域ごとの運営協議会等で、関係団体と協議する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○花泉地域診療センター開院(4/1) ○医師配置に係る調整 <ul style="list-style-type: none"> ・磐井病院院長及び事務局長等と今後の診療体制等について協議(計6回:4/23、6/6、8/22、8/27、11/12、12/20) ・花泉地域診療センター事務長との面談(計2回:8/1、11/12) ・東北大学移植・再建・内視鏡外科医局訪問(計1回:8/30) ・現在勤務している医師との面談(計4回:4/6、6/18、9/25、12/25) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇花泉地域診療センター開院(4/1) ◇圏域ごとの運営協議会において、地域診療センターの現状等について説明し、関係団体と協議(地域診療センター等懇談会は開催しない)
2-(2)-② 病床規模の適正化 【医事企画課】 【経営管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ○入院患者数の動向等に対応した病床適正化の推進(上半期)(7対1看護体制導入と併せて検討) <ul style="list-style-type: none"> ・病床利用率が概ね70%の病院で検討が必要な病院 大船渡病院及び二戸病院の2病院 ・現適正化計画と差が生じている病院 遠野病院、江刺病院及び千厩病院 	<ul style="list-style-type: none"> ○病床適正化の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・全病院長会議(5/11)、事務局長及び総看護師長等合同会議(5/18)で取組みを周知 ・本庁関係課と適正な病床数を協議のうえ8月開催の全病院長会議で提案 ・第3回全病院長会議(11/2)で進捗状況報告 ・11/26 宮古病院と打合せを実施: ⇒平成25年4月から1病棟休廃止を含め279床(△84床) ・12/21 久慈病院と打合せを実施 ⇒平成25年4月から救急センター除き248床(△27床) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇H25.4から2病院病床休止 ・宮古:△84床(1病棟含む) ・久慈:△27床

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成 25 年度取組内容

重点取組項目	平成 25 年度取組内容 (下線は 25 年度新規項目)	平成 24 年度	
		取組内容 (第 3 四半期まで)	成果と課題 (◇成果・◆課題)
2-(2)-③ 民間移管の円滑な実施 【全課室】 (経営管理課)	○沼宮内地域診療センター ・岩手町が行う民間移管に向けた取組みを支援 (医師確保に向けた情報提供) (随時)	○沼宮内地域診療センター ・岩手町と支援策に係る協議(8/2)、情報収集(11/5) ・医療法人日新堂の医師不足のため、民間移管に係る町と医療法人との調整に進展がみられない。 ○花泉診療所に係る検証の実施 ・第1回経営委員会(6/19):経過説明及び検証の方向性等協議 ・第2回経営委員会(7/23):中間報告案協議 ・県政調査会(8/2):中間報告説明 ・第3回経営委員会(8/27):最終報告案協議 ・提出議案等説明会(9/18):最終報告案説明 ・提出議案等説明会(11/19):最終報告案に係るその後の状況説明 ・検証報告書の送付(1/17)	◇民間移管に向けた岩手町の取組に対する支援 ◇花泉診療所に係る検証を実施し、課題・改善策等を取りまとめた
(3) 交通アクセスの確保			
2-(3)-① 交通アクセスの確保 【経営管理課】	○ 地域診療センターと入院先病院間の交通アクセスの確保(継続)	○花泉地域診療センター 開院に伴い、入院患者及びその家族の交通手段として、路線バス利用の開始	◇花泉地域診療センター 開院に伴い、入院患者及びその家族の交通手段として、路線バス利用の開始
3 良質な医療を提供できる環境の整備			
(1) 患者中心の安全・安心な医療の提供			
3-(1)-①-ア 医療の質の確保 《病院機能評価の受審の推進》 【経営管理課】	○ 病院機能評価の受審等 中央、磐井、千厩、一戸(予定)	○自主点検(自己評価)等の実施 ・胆沢:本庁職員による外部評価を実施:5/9 ○病院機能評価の受審等 ・江刺:受審(ver6.0):7/4~7/6 ・東和:受審(ver6.0):8/2~8/3 ・南光:院内検討の結果、更新しない	◇胆沢病院が自己評価の実施 ◇江刺病院・東和病院が病院機能評価受審 ◇自己評価等実施病院の実績をもとに取組内容、課題、改善事項を取りまとめるうえ周知(~3月末)
3-(1)-①-イ 医療の質の確保 《クリニカルパスの推進》 【業務支援課】	○クリニカルパス推進委員会の開催(7月・11月) パス推進に向けた取組施策を検討 ○クリニカルパス研修会の開催(1月) <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 20px;">【数値目標】クリニカルパス適用率 53%</div>	○クリニカルパス作成状況調査 ・23年度第4四半期クリニカルパス作成状況調査、報告実施(適用率 49.4%) ・24年度第1四半期クリニカルパス作成状況調査、報告実施(適用率 48.9%) ・24年度第2四半期クリニカルパス作成状況調査、報告実施(適用率 50.9%) ・24年度第3四半期クリニカルパス作成状況調査、報告実施(適用率 52.2%) ○クリニカルパス推進委員会の開催 ・平成24年度 第1回クリニカルパス推進委員会開催(8/7) ・電子パス作業部会(10/20) ・平成24年度 第2回クリニカルパス推進委員会開催(11/20) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin-left: 20px;">【数値目標】クリニカルパス適用率 (目標)45% (実績)50.9%(12月末)</div>	◇電子カルテ作業部会でのアウトカムマスターの検討 ◇研修会のテーマ、講師等決定・開催

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成25年度取組内容

重点取組項目	平成25年度取組内容 (下線は25年度新規項目)	平成24年度	
		取組内容(第3四半期まで)	成果と課題(◇成果・◆課題)
3-(1)-①-ウ 医療の質の確保 《病棟薬剤業務の推進》※新規 【業務支援課】	○病棟薬剤業務の拡大 ・基幹病院を中心とした実施病院の拡大 【数値目標】中央、大船渡の2病院実施		◇病棟薬剤業務実施に係る今後の施設基準及び配置職員数の計画案を策定 ◇病棟薬剤業務5病院実施 (釜石、久慈、千厩、中部、東和)
3-(1)-② 医療安全対策の推進 【業務支援課】	○医療安全対策等の徹底 ・インシデントレポートシステムによる事例分析及び再発防止策等の情報共有 ・医療安全関連ガイドライン、マニュアル等の見直し・改正 ○医療安全管理専門員の配置及び業務のあり方等の検討 ○各病院等における院内感染防止対策の充実 ・感染関連統計データの分析及び活用方法の提案による抗菌薬の適正使用推進 ・県立病院間における支援体制等の構築(10月) ・感染対策、感染関連統計に関する研修会の開催(年内開催予定) ○院内暴力等の現状把握及び対応策の検討 ・院内暴力事例に関する報告体制の構築、事例分析(5月開始予定) ・ガイドラインの策定 ・インシデントレポートシステムによる管理の必要性の検討 ○医療メディエーターの活用推進 ・職務等に関する基本方針の作成(6月)	○医療安全部による医療安全情報の提供(8月、11月) ○安全専門員会議によるインシデント事例及び対策等の情報共有(9回開催:計41件) ○院内暴力に係る現行マニュアルの収集及び報告書による発生状況の把握 ○医療メディエーター養成研修会・基礎編開催(5/26~27) ○転倒・転落防止ガイドラインの一部改正(10月施行) ○クレーム対応研修会(7/26) ○静脈注射ガイドライン、チューブライントラブル防止ガイドラインの改定案作成(9/18)(今後、看護業務検討会へ) ○医療安全管理専門員と医療安全担当者との意見交換会開催(10/16) ○セーフティマネジメント研修会開催(11/1~2) ○感染防止対策加算2に係る地域医療施設との連携活動実施(磐井:10施設、中部:7施設、久慈:3施設、宮古:2施設、中央:4施設) ○感染防止対策加算1に係る相互ラウンドの実施(①磐井⇄中部⇄胆沢、②中央は医大、日赤の3施設で連携、③久慈⇄宮古)	◇医療安全情報の提供開始 ◇医療安全管理専門員と医療安全担当者による合同会議の定期開催決定 ◇医療メディエーター養成計画の策定 ◇インシデント、アクシデントレベルの判定基準策定 ◇医療安全情報の提供 ◇セーフマスターの圏域内共有病院の拡大(1グループ→5グループ) ◇感染防止対策加算等の算定 ◆院内暴力等のインシデントレポートシステムによる管理の必要性の検討
3-(1)-③ 患者満足度の向上 【医事企画課】	○患者満足度調査の実施(9月) ・対象:各病院等入院患者の50%、外来患者の30%(全病院等一斉実施) ・調査結果の分析(11月) ○業務改善等の実施(1月) ・患者の意見要望等を踏まえた業務改善の実施 ・各病院で実施した改善取組の集約、情報共有 【数値目標】患者満足度調査 基本的な接し方 不満・やや不満患者の割合 6%以下 満足・やや満足患者の割合 56%以上 インフォームド・コンセント 不満・やや不満患者の割合 6%以下 満足・やや満足患者の割合 53%以上	○患者満足度調査 ・4/5 昨年度の結果公表 ・10/30 調査実施通知発出 ・11/19~11/30 調査実施 ・12/28 病院調査結果報告 【数値目標】患者満足度調査 (目標) (実績) 基本的な接し方 不満・やや不満患者の割合 7%以下 6.3% 満足・やや満足患者の割合 50%以上 55.4% インフォームド・コンセント 不満・やや不満患者の割合 7%以下 6.1% 満足・やや満足患者の割合 47%以上 52.6%	◇11月に満足度調査実施(調査結果集計中)

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成 25 年度取組内容

重点取組項目	平成 25 年度取組内容 (下線は 25 年度新規項目)	平成 24 年度	
		取組内容 (第 3 四半期まで)	成果と課題 (◇成果・◆課題)
(2) 病院の施設・設備の整備			
3-(2)-① 既存施設の改修 【経営管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ○ヘリポート整備 <ul style="list-style-type: none"> ・大船渡:高架式ヘリポート整備(工期:24/12/14~25/6/11) ・久慈:地上式ヘリポート整備(工事入札事務:4月~) ○南光病院病室間仕切工事(設計委託入札事務:4月~) ○建物一般整備の計画的、効果的な整備推進 <ul style="list-style-type: none"> ・病院要望現地調査(10~11月) ・平成 26 年度一般整備計画策定(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○江刺病院:耐震化 <ul style="list-style-type: none"> ・改修工事了(11/9 完成) ○大船渡病院:ヘリポート整備 <ul style="list-style-type: none"> ・工事業者選定 5/11 公告、6/4 開札→入札者なし 6/29 再公告、7/24 開札→落札者なし随契移行 8/30 見積合わせ→見積辞退 11/9 再々公告、12/4 開札、12/13 契約締結 ・再生基金増額協議(8/31-9/12) ・工事実施中(工期 12/14~6/11) ○久慈病院:ヘリポート整備 <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所再検討の方向性を決定(6/8) ・再生基金増額協議(8/31-12/6) ・再度の設計委託業者選定:12/21 公告(1/16 開札予定) ○建物一般整備 <ul style="list-style-type: none"> ・今年度整備計画通知発出(6/11) ・H25 年度病院要望調査とりまとめ(10/1-) ・H25 年度病院要望現況調査(11/1 中央、12/5 磐井南光) ※現場確認が必要な病院のみ実施 ・H25 整備計画協議(11/2※起債対象分のみ) 	◇施設改修計画を着実に実施
3-(2)-② 高度医療機器の効率的な整備 【業務支援課】	<ul style="list-style-type: none"> ○医療用設備整備調査委員会の開催(6、2月) 医療機能分担及び一層の投資効果の観点から効率的な整備について検討 ○ME管理機器の統一化(医療安全対策の推進) ○遊休資産の有効活用 遊休資産調査の実施(8、2月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○第 1 回医療用設備整備調査委員会開催(6/26) ○第 1 回遊休資産調査の実施(8/6) 病院へ結果を周知(9/5) ○臨時医療用設備整備調査委員会開催(10/30) ○電子カルテ更新に伴う部門システム更新に要する予算の検討、局長協議により方針決定(11/13) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇委員会の開催 ◇部門システム更新予算 ◇遊休資産調査 医療器械・備品分掌換実績 (H24.12 現在)19 件 73,166,540 円 ◆ME管理機器の統一化に係る具体的検討
(3) 医療情報システムの整備			
3-(3)-① 電子カルテシステムの計画的導入 【医事企画課】	<ul style="list-style-type: none"> ○磐井・南光病院におけるPDA更新(12月) ○二戸病院における化学療法オーダーの稼働(9月) ○大船渡病院の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・精神科オーダーの稼働(12月) ・NANDAの導入(12月) ○東和病院における端末更新(9月) ○各種機能強化・カスタマイズ作業 <ul style="list-style-type: none"> ・全稼働病院の評価・改修項目要望取りまとめ(10月) ・プログラム改修(11月~) ・稼働(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○大船渡病院 <ul style="list-style-type: none"> ・操作研修(6/4~7/11)、病棟稼働(7/30)、外来稼働(11/28) ○二戸病院 <ul style="list-style-type: none"> ・化学療法オーダー導入について院内調整:透析オーダーは見送り ・病院との打合せ(8/20)、改修要望のとりまとめ(12月) ○磐井・南光病院 <ul style="list-style-type: none"> ・病院への更新概要説明(5/15)、業者との契約(8/31) ○東和病院 <ul style="list-style-type: none"> ・更新機器台数確定:8/13、業者との契約(端末):9/13、端末設定(10月)、業者との契約(無線 LAN アクセスポイント)11/29 ○機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・各病院における改修項目の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◇大船渡病院における稼働 ◇病院要望の反映による機能強化 ◆機能の更なる充実

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成25年度取組内容

重点取組項目	平成25年度取組内容 (下線は25年度新規項目)	平成24年度	
		取組内容(第3四半期まで)	成果と課題(◇成果・◆課題)
3-(3)-② 医療情報データベースの構築 【医事企画課】	<ul style="list-style-type: none"> ○診療情報共有システム(i-RIAS)の機能強化 <ul style="list-style-type: none"> ・岩手医大及び地域医師会等主体の共有システムとの連携を検討(9月までにH26年度の予算化検討) (岩手医大と沿岸4病院(大船渡、釜石、宮古、久慈)との連携について、協議会にて検討) (地域医師会等主体の共有システムについては必要に応じて) ・紹介状作成、管理機能の強化、及び、岩手医大等県立病院以外との連携対応(機能設計:~9月、構築:~3月) ○バックアップシステムとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・3-(3)-③のバックアップデータと連携した共有システムへの検討(~9月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○共通 <ul style="list-style-type: none"> ・ベンダとの定例会議(毎週木曜日) ○両磐医療圏 <ul style="list-style-type: none"> ・定例会(管理運営部会)の開催(5/15、18、8/8、21、9/4、18、12/14) ・機能強化仕様検討 ○気仙医療圏 <ul style="list-style-type: none"> ・高田病院へのシステム説明会及び訪問診療支援機能提案(6/15) ・機能強化仕様検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◇気仙圏共有システムへの訪問診療対応等機能強化 ◇両磐圏共有システムと胆沢病院データの連携 ◆他医療圏へのシステム展開、及び、他医療圏等の共有システムとの連携
3-(3)-③ 診療情報データのバックアップ 【医事企画課】	<ul style="list-style-type: none"> ○バックアップデータ項目の追加検討 <ul style="list-style-type: none"> ・放射線画像データ、サマリー等文書データといったバックアップ要望の高いデータの扱いを検討(~9月) ○診療センター分のデータ集約 <ul style="list-style-type: none"> ・レセ電算データの活用を踏まえたデータ集約方法を検討(~11月) ・システム構築及びデータ集約開始(~3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○医事・オーダー等データのバックアップシステムの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・医療情報化推進委員会にてシステム構成等を協議(9/5) ・地域振興室と法務学事課とのサーバ共有検討 ・システム構成、仕様の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ◇SS-MIX データを集約したバックアップ環境の構築 ◆診療センター分のデータ集約についての検討 ◆部門データの取扱い
4 医師不足対策に向けた取組みの推進			
(1) 医師確保に向けた取組み			
4-(1)-① 医師の絶対数の増加 【医師支援推進室】	<ul style="list-style-type: none"> ○関係大学に対する継続した派遣要請 <ul style="list-style-type: none"> ・岩手医大地域医療支援委員会に対する医師派遣要請(9月) ・東北大、弘前大、秋田大等へ継続した派遣要請(11月までに完了) ○首都圏等大学医局への訪問(継続及び新規開拓)(随時) ○医師招聘活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・病院ニーズ度を踏まえた招聘活動(随時) ・災害支援を受けた医師等に対する招聘活動(随時) ・面談実績があり招聘可能性の高い医師への定期訪問(随時) ・医学雑誌や県ホームページ等を活用した医師募集(随時) ・医師データベース等を活用した新規の医師面談(随時) ○義務履行猶予中の奨学生・修学生、本県出身医学生等に対する早期の義務履行促進(11月までに完了) ○無料職業紹介事業の実施(随時) ○既招聘医師に対するフォローアップ(勤務先訪問)(計画的に実施) ○定期的訪問による病院の状況(ニーズ)把握、情報収集(計画的に実施) ○本県出身学生に対する県人会等での働きかけ(6月、1月、2月) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【数値目標】 (目標)</p> <p>H26.4.1 現在常勤医師増加数 10人増</p> <p>(対前年度比:後期研修医を除く)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○関係大学に対する継続した派遣要請 <ul style="list-style-type: none"> ・岩手医科大学地域医療支援委員会に対して医師派遣要請書を提出(10/9) ・東北大学移植・再建・内視鏡外科医局訪問(8/30) ○首都圏等大学医局への訪問(継続及び新規開拓) <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等大学医局への訪問実績:埼玉医科大学:2件、山口大学:1件 ○医師招聘活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・他県等からの即戦力医師の招聘活動実績:面談:287件、病院見学等立会い:26件、平成24年度採用:21名 ・岩手県医師支援推進室のホームページに掲載している被災地等への診療応援募集に係る掲載内容を更新(5/14、12/28(小児科被災3県合同募集)) ○義務履行猶予中の奨学生と面談し義務履行開始時期を決定(2名、9/1~高田病院採用、2013/4/1~中央病院採用予定) ○その他義務履行猶予中の修学生との面談実績:計2回 ○その他修学生(義務履行中)との面談実績:計14回 ○招聘医師のフォローアップを目的とした面談実績:計18回 ○訪問による病院の状況把握、情報収集実績:計18回 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【数値目標】 (目標) (実績)H25.1.1 現在</p> <p>H25.4.1 現在常勤医師増加数 11人増 1人減</p> <p>(対前年度比:後期研修医を除く)</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◇H25.1.1 現在常勤医師数(後期研修医を除く)487人 (H24.3.31 現在比1人減) ◇H24.12.31 現在平成24年度招聘医師数21人 ◆関係大学からの派遣医師数の減少に対する対策の強化 ◆奨学生等の増加に対する対応 ◆病院ニーズ等現状の把握

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成25年度取組内容

重点取組項目	平成25年度取組内容 (下線は25年度新規項目)	平成24年度	
		取組内容(第3四半期末で)	成果と課題(◇成果・◆課題)
4-(1)-② 地域別・診療科別の偏在の緩和 【医師支援推進室】	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹病院等による地域病院への支援体制の検討と実施 <ul style="list-style-type: none"> ・要請に基づき病院間調整(随時) ・<u>県立病院間の支援策を実施するための後期研修プログラムの見直し等を「医師確保対策検討委員会」で検討(年度末までに決定)(会議:6月、9月、12月、2月)</u> ○病院間等の診療応援の充実強化 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹病院等から地域病院等への積極的な応援(随時) ○地域病院担い手医師の育成(総合診療医育成プログラムのPR)(保健福祉部と共同実施) <ul style="list-style-type: none"> ・<u>対応プログラムの見直しに関するサポート(中央、釜石、中部:随時)</u> ・広報活動(医学雑誌への掲載等)(随時) ○必要診療科・医師数の把握(圏域毎) <ul style="list-style-type: none"> ・<u>病院(圏域)に対する調査の実施(5月)</u> 	<ul style="list-style-type: none"> ○診療体制の把握:4月に調査実施、5月に体制一覧作成 ○病院間等の診療応援の充実強化: <ul style="list-style-type: none"> ・東和病院から支援要請あり(11月):中部病院から外科の診療応援を開始 ・磐井病院から花泉(緊急時)に対する中央病院からの支援に関して調整依頼(12月)→中央病院への支援依頼方法等説明 ・中央病院から宮古病院へ1ヶ月交代で医師(後期研修医)を派遣(4~3月) ・中央病院から釜石病院へ1ヶ月交替で医師(後期研修医)を派遣(9~12月) ○医師確保対策検討委員会の開催(3回:6/29、8/10、12/12) ○地域病院担い手医師育成に関する今後の活動方針等について、保健福祉部担当との打ち合わせを実施(6月) ○GLOWから紹介された医師の採用内定(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇H25.1.1 現在地域病院正規医師数 83人(H24.3.31現在比6人増) ◇H24.11 現在診療応援件数 3,386件(前年同月比493件増) ◇総合診療医育成プログラム見直しの実施(中央、釜石、中部) ◆真に必要なとされる診療科・医師数の把握(圏域毎) ◆広域での診療支援システム確立 ◆担い手医師の育成
4-(1)-③ 臨床研修制度の充実 【医師支援推進室】	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修体制の充実・強化 <ul style="list-style-type: none"> ・いわてイーハートウ臨床研修病院群WG会議(随時) ・いわてイーハートウ臨床研修病院群代表者・副代表者会議開催(随時) ○臨床研修医のスキルアップ等 <ul style="list-style-type: none"> ・研修医合同オリエンテーションの開催(4/4-6) ・レジデントスキルアップセミナーの開催(9月下旬) ・被災地研修プログラム運用モデル事業の継続実施 ・全国OSCE参加による本県研修体制の強化とPR(6/1-2) ○指導医のスキルアップ等 <ul style="list-style-type: none"> ・指導医講習会(11/7-8) ・スキルアップセミナー(9月頃) ・先進地視察研修の実施(未定) ○医学生に対するアピールの強化等 <ul style="list-style-type: none"> ・医学生合同説明会への参加(青森-4/27、東海・北陸地区-5/12、大阪-6/30、東京-7/14、盛岡-11~12月頃、秋田-H26.2月上旬頃、福岡-H26.2月下旬~3月上旬、盛岡-H26.3月中旬頃、仙台-H26.3月頃、東京-H26.3月中旬頃) ・合同説明会参加者の病院見学調整(旅費支給) ・臨床研修病院合同面接会の開催(8/17) ○臨床研修に係る病院事務担当者の体制強化等 <ul style="list-style-type: none"> ・いわてイーハートウ臨床研修病院群事務局WG会議の開催(随時) ・事務局職員ワークショップの開催(11/8-9) ○後期研修プログラム等の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・後期研修医合同説明会への参加(6/16) ・<u>対応プログラムの見直しに関するサポート(随時)</u> <p>【数値目標】26年度採用臨床研修医マッチ数 56人 H26.4.1 後期研修医 66人</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修体制の企画に関する会議運営 <ul style="list-style-type: none"> ・WG代表者、副代表者会議開催(5/14、10/15) ・WGTV会議開催(6/12) ・WG集合会議開催(10/29) ・研修体制・事業企画について、WGTV会議にて予定を提示し了承(6/12) ・合同オリエンテーション開催(4/5-7) ・レジデントスキルアップセミナー開催(9/28-29) ・被災地研修プログラム運用モデル事業を昨年度に引き続き実施(22名受入、昨年度実績:26名) ・全国OSCE大会開催(6/2-3) ○臨床研修体制(指導医対象事業)に関する企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・指導医講習会開催(11/2-3) ・指導医スキルアップセミナー開催(10/13) ・先進病院視察実施(12/21-聖隷浜松病院) ○医学生合同説明会への参加 <ul style="list-style-type: none"> ・青森(4/28)、東海・北陸地区(5/13):見学調整(3名) ・レジナビフェア大阪(7/1):見学調整(14名) ・レジナビフェア東京(7/15) ○山形大学医学部岩手県人会への参加(6/29) ○臨床研修体制(病院事務担当者対象事業)に関する企画・運営 <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県臨床研修病院合同面接会(8/18、11/9) ・事務局WG集合会議開催(11/3) ・事務局職員講習会開催(11/2-3) ・後期研修医合同説明会への参加(6/17) <p>【数値目標】(目標)(実績) 25年度採用臨床研修医マッチ数 56人 58人 H25.4.1 後期研修医 66人 63人 (H24~H25採用臨床研修医計 目標112人⇒実績113人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇H25 年度採用予定臨床研修医数 58人(前年度比3人増) ◇H25.4.1 現在予定臨床研修医数 113人(前年度比10人増) ◇H25.1.1 現在後期研修医数 63人(H24.3.31現在比16人増) ◆初期臨床研修医の更なる確保 ◆後期研修医の更なる確保

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成25年度取組内容

重点取組項目	平成25年度取組内容 (下線は25年度新規項目)	平成24年度	
		取組内容(第3四半期まで)	成果と課題(◇成果・◆課題)
(2) 魅力ある勤務環境への改善			
4-(2)-① 医師の業務負担の軽減 【職員課】 【経営管理課】	○医療クラークの質的向上等 ・医療クラークスキルアップ研修の実施(2回:11月～1月) ・医療クラークのリーダー養成等の対応検討(上半期) ○医師の勤務環境の改善 ・中部病院増改築工事(設計委託:4月～) ※当直室、シャワー室の増設及び休憩室の拡張等	○医療クラーク定数検討、増員 ・4月 定数検討 ・5/11 全病院長会議説明 ・5/14 定数措置(179人→上限246人:67人増) ○医療クラーク研修会の実施(7/23):64名受講 ・医療クラークのスキルアップ等に必要の技能等調査実施(8月) ・対応検討(10月) ・全病院長会議等への提案(11月) ・対応通知(12月) ○医師の勤務環境の改善 ・中部病院の当直室、シャワー室の増設及び休憩室の拡張等に係る設計業務入札事務実施	◇医療クラークの定数増(179人→上限246人:67人増) ◇医療クラーク研修会の実施(7月) ◇スキルアップに求められる技能等調査の実施(8月)及びスキルアップ研修の新設(H25から実施) ◇医師の勤務環境の改善に向けた整備に着手 ◆医療クラークのリーダー養成と待遇等の改善
4-(2)-② 女性医師の支援 【経営管理課】 【職員課】 【医師支援推進室】	○24時間保育・病後児保育の継続実施 ・円滑な運営への対応(保育所運営会議を随時開催) ・保育所利用の促進(就職説明会等での説明) ・利用者増に対応した施設改修、整備等必要性調査 ○県立病院勤務を希望する女性医師に対する職場復帰支援 ・県医師会と連携し、受入体制等の情報発信(随時) ○勤務女性医師からの意見聴取及び支援策の実施 ・女性医師との懇談会の開催(6月頃) ・支援策の制度化(随時) ○女性医師に配慮した勤務環境の改善 ・各病院の実態を踏まえた整備方針の検討(4月～)	○保育所運営会議の実施 中央5回(4、6、8、10、12月)、釜石1回(11月)、胆沢1回(12月)、久慈1回(12月)、江刺1回(8月) <主な議題> ・保育所利用状況、年間行事実施予定内容、意見情報交換等 ○職場復帰支援(育児支援)に対する相談対応(相談実績:1件) ○各病院の整備状況を把握(～3月予定)	◇保育所の女性医師の利用:7名(H24年度) ◇H25.1.1 現在育児短時間制度利用医師数9人 ◇女性医師支援に関するパンフレットの作成及び周知 ◇各病院の整備状況を把握し、整備方針を検討するための資料を収集 ◆勤務している女性医師からの意見等の把握 ◆職場復帰支援事業の強化
4-(2)-③ 医師の処遇改善と支援の充実 【医師支援推進室】 【職員課】	○定着支援策の継続検討 ・1号医師協議会の開催(上半期1回) ・医師に関する諸問題検討委員会の開催(随時) ・定期的な病院訪問(年2回-6月、12月) ○勤務医との意見交換 ・医師連との意見交換(随時) ・医師支援推進室等相談窓口の運用(随時)	○1号医師協議会の開催(9/19) ○医師に関する諸問題検討委員会の開催(9/29) ○医師支援推進室職員紹介データを各病院へ配布(6月)(相談実績:2件)	◇H24.12 現在医師支援推進室相談窓口利用件数10件 ◆勤務環境及びニーズ等の把握

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成 25 年度取組内容

重点取組項目	平成 25 年度取組内容 (下線は 25 年度新規項目)	平成 24 年度	
		取組内容 (第 3 四半期まで)	成果と課題 (◇成果・◆課題)
5 職員の資質と満足度の向上			
(1) 人づくり			
5-(1)-① 計画的な人材育成 【職員課】 【医事企画課】 【業務支援課】	<p>《医 事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医事業務指導等を通じた医事経営能力の向上 ○医事経営課職員スキルアップ勉強会による基礎的能力の向上・育成(初任～中堅職員対象)(2回) ○業務担当者実務研修会による能力の向上・育成 ○DPCデータ分析に係る専門的能力の向上・育成 ○DPC業務マニュアルの作成・活用 ○診療情報管理士が行う業務の策定 <p>《業 務》</p> <p>各業務検討委員会を通じて検討のうえ、関係課と協議</p> <p>(薬 事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認定薬剤師等の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・がん、緩和、感染認定薬剤師等の育成(H25.5 月公募) ・がん領域以外の認定薬剤師等の育成推進(緩和・ICT 等) (診療放射線) <ul style="list-style-type: none"> ○キャリアデザインによる人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・新採用者研修実施(H25.7) ○放射線治療の品質管理 <ul style="list-style-type: none"> ・放射線治療施設への第3者評価継続 ○品質管理・精度管理実務の専門職育成(臨床検査) ○内部・外部精度管理の検証と精度の向上 ○レイアウト・動線の見直しによる業務効率の推進 ○超音波検査担当技師育成の推進(継続) <p>(看 護)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○認定看護師育成 ○助産師研修の継続 ○派遣専攻面接の実施(6月) 	<p>《医 事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5/29 から医事業務指導実施(5月1病院、6月4病院、7月3病院、8月5病院、9月4病院) ・12月 医療業務指導後のフォローアップ 5病院実施 ・医事業務ハンドブックの見直し修正(追加2件、見直し2件) ・7/26～7/27 スキルアップ研修会の開催 ・7/30DPC担当者会議開催 ・診療情報管理士との意見交換会(10月) <p>《業 務》</p> <p>(薬 事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定薬剤師養成研修等派遣公募、選考により、計5名の派遣内定(7月) ・薬剤業務検討委員会(6/22、8/27 開催) ・育成決定:緩和3名、感染2名(5/18 募集、7/2 面接、7/19 決定) ・専門認定中長期養成計画改訂(8/27) ・BSC策定ワーキング 病棟薬剤業務に係る配置職員数計画(案)作成(7/6、9/7)⇒11/12 薬剤科長等会議で周知 ・専門認定薬剤師会議(10/12、業績報告等) ・治験等受託要領改定ワーキング(8/10、12/13) <p>(診療放射線)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・釜石病院リニアック導入時の放射線治療専門部会での業務支援(5月～6月) ・放射線治療専門部会の校正・検証シートによる第3者評価実施(二戸・磐井) ・医学物理士の専門職として治療業務計画作成 ・有害物手当取扱い改正(12月から実施) ・新人教育研修案作成 <p>(臨床検査)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回臨床検査技師長会議(11/22) ・第3回臨床検査業務検討委員会(12/14) ・体表臓器(乳腺エコー)検査手順書を配布 ・キシレン取扱い作業手順書作成 <p>(看 護)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認定看護師派遣面接(H25年予定)(6/25) ・平成24年度第1回認定看護師部会開催(5/16) ・認定看護師部会ブロック会議開催 ・認定看護師実務研修会実施(6/2) ・看護業務等検討委員会(5/25、7/6、8/3、9/21、11/30) ・看護業務等改善専門部会(業務等検討委員会下部組織)(10/25) ・現任主任研修(7/24～25、9/6～7) ・看護研究指導者フォローアップ研修会(7/20、10/10、12/10) ・助産師研修の実施(10/29、11/26) ・認定看護師教育専門課程派遣公募、選考により8名の派遣を内定(7月)(摂食・嚥下障害、皮膚・排泄ケア、感染管理、集中ケア、がん化学療法、がん性疼痛看護、緩和ケア、うつ病看護) ・岩手医大高度看護専門研修センターの「緩和ケア」平成25年度教育専門課程の二次募集に対応⇒受講希望職員選考のうえ1名を派遣内定(12月) ・看護管理者の心のケアセミナー(10/15) 	<p>《医 事》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇医事業務指導時に医事業務ハンドブックを活用した説明・指導を実施 ◇医事業務ハンドブックの修正(追加2件見直し2件) ◇医事経営課スキルアップの実施(初級職員対象) ◇DPC担当者会議による分析資料提供 ◆医事経営課スキルアップ(中堅職員対象)の実施内容 ◆DPC業務マニュアル等の策定と活用 ◆診療情報管理士が行うべき業務の整理 <p>《業 務》</p> <p>(薬 事)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇認定薬剤師等の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・5月公募7月面接緩和3名感染2名育成決定 (診療放射線) <ul style="list-style-type: none"> ◇業務検討委員会において医学物理士の配置計画作成 ◇釜石病院リニアック導入に係る業務支援 ◇放射線治療専門部会による第三者評価実施 ◆医学物理士の実務修得(臨床検査) ◇チェックシートを活用した自己評価の結果は概ね良好 ◇実状に合わせ(業務応援等で)超音波検査を全病院で対応 (看 護) <ul style="list-style-type: none"> ◇助産師研修実施 ◇認定看護師 53名、専門看護師 1名、H25年度9名派遣 ◆認定看護師育成

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成 25 年度取組内容

重点取組項目	平成 25 年度取組内容 (下線は 25 年度新規項目)	平成 24 年度	
		取組内容 (第 3 四半期まで)	成果と課題 (◇成果・◆課題)
5-(1)-① 計画的な人材育成 (続き)	<p>(栄 養)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務マスタースケジュール及び評価表の活用(継続) ・新採用者の実務研修会の開催(7月) ・新人教育担当者の養成 ・部門システム運用マニュアルの作成 ・熟煮食マニュアルの作成 <p>(視能訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実務者(指導者)研修の実施検討(12月) ・部門別業務運営方針(BSC)の策定検討(12月) <p>(臨床工学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部門別業務運営方針(BSC)の策定(4月) ・業務指導の実施検討(9月) ・医療機器管理運用システムの効率的運用 ・職員配置計画に基づく業務の推進(12月) <p>(医療社会事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアデザインの策定 ・新採用研修の実施(6月) ・医療社会事業士ハンドブック(マニュアル)の改正 <p>(リハビリテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採用研修の実施(4月) ・実務者研修の検討(9月) ・業務指導の実施(全病院)(9月) ・上位施設基準取得に向けた取組み <p>(臨床心理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員配置計画の作成(4月) ・キャリアデザインの策定 ・業務マニュアルの作成 <p>《事 務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○基本プランに基づく事務職員研修の実施(4月～ (新採用事務職員基礎研修含む。)) ○事務主任級以上に係る人材育成プランの検討(4月～) 	<p>(栄 養)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルを活用しての新人育成実施 ・栄養管理業務検討委員会(7/13、9/7、10/5、11/5、12/7) ・栄養管理業務検討委員会調理業務検討部会(9/24、10/22、12/10) ・栄養管理業務検討委員会システム部会(8/24、9/28、10/19、11/30) ・栄養管理業務検討委員会 NST 専従部会(10/19) <p>(視能訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会(6/27、8/22、9/22、10/17、12/4) キャリアプラン(案)策定中 H23 年度業務応援実績取りまとめ、H24 年度業務量調査実施 3部会開催(12/21) <p>(臨床工学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会(5/18、8/17、9/22、10/15、12/10) H24 人材交流実務研修実施検討 人員配置計画作成済(12/20) キャリアプラン(案)策定中 システム部会(8/3、9/14、10/12、11/22) 医療機器管理システムの運用 <p>(医療社会事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務検討委員会(7/3、8/22、10/13) 人員配置策定中 業務マニュアル策定中 日誌・統計、記録、退院支援部会設置(11/21)、日誌統計部会事前視察 (11/28) <p>(リハビリテーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技師長会議開催(2回:7/13～14、12/7) ・業務検討委員会(5/14、9/27、10/31、12/3) 各病院におけるBSC策定済、BSC中間報告(12/7) 新人教育・管理教育(案)策定中 H23 年度業務調査実施(12/7)、H24 年度業務指導実施(12/17～19) 人員配置計画作成済(11/13) <p>(臨床心理)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会(9/22) ・業務検討委員会設置及び開催(12/8) <p>(業務全般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療職種との合同意見交換会(9/21～22) 参加者アンケート調査実施及び集計 <p>《事 務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新採用事務職員基礎研修Ⅰ期を終了(7月)引き続き基礎研修Ⅱ期を当初配置病院にて実施 ・事務職員人材育成プラン策定検討委員会の開催 (7月2回、8月1回、9月1回) ・プラン策定委員会基本プランたたき台の検討終了(10/10) ・全病院長会議(11/2)、務局長・総看護師長等合同会議(11/16)に基本プラン成案策定に向けた対応を報告。 	<p>(栄 養)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇業務マスタースケジュール及び評価表の活用(7病院) ◇業務マスタースケジュール(2～3年目)、評価表作成 ◇調理従事者新採用者(臨時職員)の育成実施 ◆業務マスタースケジュール及び評価表の活用拡大 (視能訓練) ◇キャリアデザインの策定 ◇業務マニュアルの作成 (臨床工学) ◇キャリアデザインの策定 ◇業務検討委員会において人員配置計画作成 (医療社会事業) ◇業務検討委員会において人員配置計画(案)作成 ◇県職員採用説明会出席 ◇業務検討委員会下部部会の設置(3部会) (リハビリテーション) ◇業務検討委員会において人員配置計画作成 ◇業務指導の実施 ◇患者台帳の見直し ◇実務研修の実施 (臨床心理) ◇業務検討委員会の設置 <p>《事 務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇新採用事務職員基礎研修の実施 ・Ⅰ期 4月～7月:中央病院・本庁各課室 ・Ⅱ期 8月～3月:配置先病院 ・基礎研修の実施内容等について、評価・検証の実施(2月予定) ◇一般級職員に係る育成プラン(基本プラン)の策定 ・検討委員会を設置し検討(7月～10月) ・検討委員会の案を踏まえ、基本プランを策定(3月) ◆主任級以上の職員に係るプランの策定

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成 25 年度取組内容

重点取組項目	平成 25 年度取組内容 (下線は 25 年度新規項目)	平成 24 年度																																										
		取組内容 (第 3 四半期まで)	成果と課題 (◇成果・◆課題)																																									
5-(1)-① 計画的な人材育成 (続き)	<p>【数値目標】</p> <table border="0"> <tr><td>認定看護師</td><td>53 人→66 人</td></tr> <tr><td>認定薬剤師</td><td>23 人→26 人</td></tr> <tr><td>超音波検査士</td><td>26 人→28 人</td></tr> <tr><td>認定輸血検査技師</td><td>4 人→6 人</td></tr> <tr><td>認定管理栄養士</td><td>27 人</td></tr> <tr><td>(資格数 41→43)</td><td></td></tr> <tr><td>診療情報管理士</td><td>42 人→44 人</td></tr> </table>	認定看護師	53 人→66 人	認定薬剤師	23 人→26 人	超音波検査士	26 人→28 人	認定輸血検査技師	4 人→6 人	認定管理栄養士	27 人	(資格数 41→43)		診療情報管理士	42 人→44 人	<table border="0"> <tr><td>【数値目標】</td><td>目標</td><td>実績</td></tr> <tr><td>認定看護師</td><td>47 人→54 人</td><td>47 人→53 人</td></tr> <tr><td>認定薬剤師</td><td>19 人→27 人</td><td>22 人→23 人</td></tr> <tr><td>※NST 認定薬剤師を追加</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>超音波検査士</td><td>25 人→28 人</td><td>25 人→26 人</td></tr> <tr><td>認定輸血検査技師</td><td>3 人→7 人</td><td>3 人→4 人</td></tr> <tr><td>認定管理栄養士</td><td>27 人→28 人</td><td>27 人</td></tr> <tr><td></td><td></td><td>(資格数 38→41)</td></tr> <tr><td>診療情報管理士</td><td>34 人→40 人</td><td>38 人→42</td></tr> </table>	【数値目標】	目標	実績	認定看護師	47 人→54 人	47 人→53 人	認定薬剤師	19 人→27 人	22 人→23 人	※NST 認定薬剤師を追加			超音波検査士	25 人→28 人	25 人→26 人	認定輸血検査技師	3 人→7 人	3 人→4 人	認定管理栄養士	27 人→28 人	27 人			(資格数 38→41)	診療情報管理士	34 人→40 人	38 人→42	
認定看護師	53 人→66 人																																											
認定薬剤師	23 人→26 人																																											
超音波検査士	26 人→28 人																																											
認定輸血検査技師	4 人→6 人																																											
認定管理栄養士	27 人																																											
(資格数 41→43)																																												
診療情報管理士	42 人→44 人																																											
【数値目標】	目標	実績																																										
認定看護師	47 人→54 人	47 人→53 人																																										
認定薬剤師	19 人→27 人	22 人→23 人																																										
※NST 認定薬剤師を追加																																												
超音波検査士	25 人→28 人	25 人→26 人																																										
認定輸血検査技師	3 人→7 人	3 人→4 人																																										
認定管理栄養士	27 人→28 人	27 人																																										
		(資格数 38→41)																																										
診療情報管理士	34 人→40 人	38 人→42																																										
5-(1)-② 職員研修の充実 【職員課】	<p>○平成 25 年度研修計画による各種研修の実施 31 課程、受講対象延べ 2,079 名(予定) ※本年度に追加する研修(新規追加) 医療クラークスキルアップ研修、現任係長・主査研修 ※本年度に追加する研修(隔年開催 本年度開催年) 現任看護師長研修 ※本年度に休止する研修(隔年開催) 現任主任医療技術職員研修</p> <p>【数値目標】</p> <p>研修受講後の自己チェック(肯定回答率) ・意識変化 90%以上、行動変化 90%以上</p>	<p>○平成 24 年度研修計画に基づいて各種研修会を実施 師長補佐・副技師長等研修、新採用職員研修(前期、後期)、新任主任研修、人事考課研修、OJT研修、新任監督者研修、経営幹部職員研修、現任主任看護師研修、ライフプランセミナー、医療クラーク研修、現任主任医療技術研修、メンタルタフネスセミナー、事務局長・総看護師長特別研修会、一般職員初級研修、接遇指導者研修</p> <p>○各職種のキャリアデザインに対応した研究研修費予算配分 ・各職域団体との意見交換会開催(12/20) ・各職域団体に対する調査実施(～1/23)</p> <p>【数値目標】研修受講後の自己チェック(肯定回答率) (目標) (実績) ・意識変化 90%以上 ※集計中 行動変化 90%以上</p>	◇27 課程、延べ 2,138 名が受講																																									
5-(1)-③ 職員への業務支援 【職員課】	<p>○業務に対する目的意識の明確化及び働く意欲の向上 ・人事考課制度の推進 ・育成面接者研修の実施(対象約100名)(6月)</p>	○自己評価(人事考課シート)、育成面接を踏まえた定期評価(基準日:10月1日)の実施																																										
(2) 働きやすい職場環境																																												
5-(2)-① 職員満足度の向上 【職員課】	<p>○職員満足度調査の実施(病院別にも集計し、結果を病院にフィードバックするとともに病院ごとの満足度向上に向けた取組みを促進)</p> <p>○看護師の勤務環境改善の取組み等の周知</p>	<p>○個別意見の分析、本庁各課への積極的取組み依頼等</p> <p>○本庁各課に職員満足度の向上に向けた取組みの検討 ・看護の勤務環境改善(夜勤専従、補助者夜勤) ・特殊勤務手当、夜勤手当の拡充</p> <p>○職域業務検討委員会における検討 ・自主研修の負担軽減、業務記録の簡略化等</p> <p>○病院の取組み事例調査(宮古、久慈、釜石、中部ほか)</p>	<p>◇看護師の勤務環境改善の取組み(補助者夜勤、夜勤専従、夜間看護手当)</p> <p>◇特殊勤務手当の拡充(検査、放射線)</p>																																									
多様な勤務形態等の採用 【職員課】		<p>○任期付任用 ・課内検討(4月:課題等整理・たたき台作成) ・局長検討(5月:方向性検討:導入しない方向)</p> <p>○育児短時間 ・全職種に導入済み(4月):4/1 現在 9名(医師8名・医師以外1名)</p>	<p>◇任期付任用制度は導入しない方向性の確認(検討終了)</p> <p>◇育児短時間勤務制度を全職種に導入:H25.1 制度活用者 12人(医師9人、他3人)</p>																																									

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成25年度取組内容

重点取組項目	平成25年度取組内容 (下線は25年度新規項目)	平成24年度	
		取組内容(第3四半期まで)	成果と課題(◇成果・◆課題)
5-(2)-② 仕事と生活の調和 【職員課】 【業務支援課】	<ul style="list-style-type: none"> ○出産休暇、育児休業職員に対する適正な補充 ○時間制看護職員の夜勤専従の正式導入(4月～) ○正規看護職員の夜勤専従の試行実施(4月～) 	<ul style="list-style-type: none"> ○業務検討会の取組等による業務効率化と職員の負担軽減 <ul style="list-style-type: none"> ・夜勤専従看護師制度導入状況の把握(宮古、磐井、中央で実施) ・業務調査、業務指導時に業務分担進捗状況の把握 ・業務調査内容のまとめと各病院への発信 ○育児休業者等に対する補充(4月) (看護:見込者186人、補充219人、補充率118%) ○試行期間延長要請の検討 試行期間延長(6/28通知:H25.3月末まで試行期間を延長)及び実施状況等調査の延期(H25.1月頃)、全病院長会議等へ報告(8月) <ul style="list-style-type: none"> ・試行実施状況調査(アンケート)実施(12月) ・夜勤専従看護師制度導入状況の把握(宮古、磐井、中央で実施) ・業務調査、業務指導時に業務分担進捗状況の把握 ・業務調査内容のまとめと各病院への発信 	<ul style="list-style-type: none"> ◇事故欠補充の拡充(看護:補充率110%→118%) ◇時間制看護職員の夜勤専従試行の実施及び検証 ◇時間制看護職員の夜勤専従の正式導入(H25年度実施) ◇看護業務等検討委員会専門部会での看護補助者夜勤業務内容、実施についての検討 ◆夜勤専従職員の確保(増員)
5-(2)-③ 職員の健康サポート 【職員課】	<ul style="list-style-type: none"> ○職員定期健康診断(5、11月)各種検診、予防接種の実施 ○医師による面接指導の実施(通年) ○メンタルヘルスセミナーの開催(8～10月) ○メンタルヘルス相談室(随時) ○ストレスチェック実施(第1回定期健診時期(5月))、要配慮者等を対象としたカウンセリング・研修の実施(7～8月) ○被災した職員に対するメンタルヘルスサポート(通年) ○専門職員配置、支援マニュアル改訂など、心の病気による職員の支援体制の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○本庁職員定期健康診断の実施(6月、12月) ○胃がん、乳がん、子宮がん検診、インフルエンザ予防接種の募集、実施等 ○メンタルタフネスセミナーの実施(8月～10月) ○本庁職員を対象とした共済健康推進事業講演会の実施(11/21) 講演内容:「ココロとカラダにいいお酒の飲み方」 ○「ストレスチェック」の実施通知(10月) ○チェックシート配布及び回収(6,092人回答、回収率91.7%)(11月) ○個人及び所属へ集計結果の配布(12月) ○「心の病気による職員を抱える管理・監督者のためのマニュアル」「医療局職員職場復帰勤務支援実施要綱」の運用状況について、各病院者あて照会(11月末) ○他部局の復職支援の状況について照会(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇精神疾患による新規病休者のうち病気休職に至る割合の低下 H24:25%、H23:29%、H22:32%(1月末比較) ◆実効性の高い支援方法の検討、支援体制の強化
6 安定した経営基盤の確立			
(1) 事業運営体制の整備			
6-(1)-① 経営企画機能の強化 【経営管理課】 【職員課】 【医事企画課】	<ul style="list-style-type: none"> ○医事経営課長等会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・重点取組等の周知、意見交換 ○医事業務指導の実施(5～9月)及びフォローアップ ○診療情報管理士の活用推進(経営効率に関する分析等) ○経営委員会の開催(4回程度) <ul style="list-style-type: none"> ・経営計画の重点的取組事項の進捗状況等を評価、次期経営計画策定にあたっての提言等 ○会計制度見直しへの対応 (H26.4～、資本制度改正H24.4～) <ul style="list-style-type: none"> ・改正項目に係る対応方向検討(～6月) ・財務処理詳細検討、システム等整備(～9月) ・次期経営計画反映、26当初予算移行(～3月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○医事業務指導の実施(5～9月)及びフォローアップ <ul style="list-style-type: none"> ・5/29から医事業務指導実施 (5月1病院、6月4病院、7月3病院、8月5病院、9月4病院) ・12月 医事業務指導後のフォローアップ5病院実施 ・医事業務指導を通じて診療情報管理士との面談や資料提供により情報収集 ○経営委員会の開催(3回) <ul style="list-style-type: none"> ・6/19:24年度重点取組事項 ・7/23:23年度重点取組事項の取組結果 花泉診療所の民間移管に関する検証(中間報告) ・8/27:次期経営計画策定スケジュール 花泉診療所の民間移管に関する検証(最終報告) ○会計制度見直し <ul style="list-style-type: none"> ・条例制定:予算調製課協議:5/14、条例公布・同日施行:10/18 ○経営状況の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・課長会議に報告・情報交換(6月末～毎月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇医事業務指導の実施(17病院) ◇フォローアップ実施(10病院) ◇経営委員会で外部からの視点による評価を受け、次年度の重点取組事項へ反映させることが可能となる ◇資本制度改正に対応して条例を整備(10/18施行) ◇全病院への概要説明や本庁内での情報共有を実施 ◆診療情報管理士の活用推進 ◆選択肢を踏まえながら政策的に検討していく必要あり ◆次期経営計画策定とも連動し、26当初予算にて移行

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成 25 年度取組内容

重点取組項目	平成 25 年度取組内容 (下線は 25 年度新規項目)	平成 24 年度	
		取組内容 (第 3 四半期まで)	成果と課題 (◇成果・◆課題)
6-(1)-② 病院経営マネジメントの推進 【職員課】	<ul style="list-style-type: none"> ○病院経営マネジメントに関する研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・経営幹部職員研修の実施(7月) ・事務局長特別研修の実施(8月) ○病院長の裁量権の拡充検討 <ul style="list-style-type: none"> ・病院長の裁量権拡充について継続して検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 病院経営マネジメントに関する研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・幹部職員研修会の実施(7/18、19):受講者 23 名受講 ・事務局長総看護師長特別研修会実施(8/31):受講者 38 名受講 ・国立保健医療科学院主催「地域医療連携マネジメント研修」の実施(11/5～11/9)受講者 6 名受講(新任事務局長及び総看護師長を対象) ○病院長の裁量権の拡充検討 <ul style="list-style-type: none"> ・医療クラークの採用に病院長裁量を導入(5 月:定数上限を設け、その範囲内で病院長裁量により採用数を決定) ・病院長権限の実態把握(6 月:各課の予算令達等の運用状況の確認) ・本庁各課照会(8 月)【事案なし】 ・病院長の裁量権拡充事案の掘り起こし(9 月～) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇幹部職員研修会は 23 名受講 ◇事務局長総看護師長特別研修会は、総看護師長を加え 38 名受講(合同会議) <ul style="list-style-type: none"> 経営改善、人材育成に係る取組み事例等を研修 ◇医療クラークの採用に病院長裁量を導入
6-(1)-③ 病院毎の経営目標の設定と進捗管理 【経営管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ○平成 25 年度当初予算に基づいた各病院の経営目標及び収支計画の設定(5月) ○本庁と基幹病院との情報交換会の実施(6月) <ul style="list-style-type: none"> 目標設定、超過勤務の縮減策、収支計画の進捗状況等 ○進捗管理の実施(7、11、1 月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○各病院の経営目標及び収支計画の策定(5 月) ○情報交換会の実施(6/6～13) ○収支計画の策定(7 月) ○四半期ごとの進捗管理の実施(8 月・10 月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇現経営計画における収支目標を達成できる収支計画を策定 ◇四半期毎に進捗管理の実施
(2) 職員の適正配置			
6-(2)-① 職員の適正配置 【職員課】	<ul style="list-style-type: none"> ○看護部門 <ul style="list-style-type: none"> ・患者数や業務量等に応じた配置、育児休業者の計画的補充(随時) ・募集パンフレットの作成(4月中旬)、就職説明会(4月下旬)、養成機関訪問(12～1月)、 ○医療技術部門 <ul style="list-style-type: none"> ・臨床工学技士及び医療社会事業士の体制強化 <ul style="list-style-type: none"> 各病院必要数調査(4月)、採用数検討(5月)、各病院職員体制調査(9～10月)、職員体制検討(11～2月) ・薬剤師の必要数の確保、病棟薬剤業務実施に向けた増員就職説明会への参加(随時)、薬学実習事前講義の実施(東北薬科大学:4月下旬、岩手医科大学:8月下旬) ○事務管理部門 <ul style="list-style-type: none"> 次期経営計画策定及び被災病院再建のための人員配置(4月) 	<ul style="list-style-type: none"> ○看護部門 <ul style="list-style-type: none"> ・看護部門定数増、育児休業者等の適正補充(4月) <ul style="list-style-type: none"> 7対1看護:30 人(中央 11 人、磐井 19 人)、事故欠補充:219 人(補充率 118%) ○医療技術部門 <ul style="list-style-type: none"> ・医療社会事業士定数増(4 月:26→29) ○事務管理部門 <ul style="list-style-type: none"> ・次期経営計画策定のための人員配置(4 月)(経営管理課増員:1 人) ○全体 <ul style="list-style-type: none"> ・翌年度配置方向性検討(4 月～9 月:採用数検討、7 対 1 体制の方向性等医事企画課との連携) ・翌年度各病院職員体制照会(9 月) <ul style="list-style-type: none"> 同 取りまとめ、ヒアリング(10 月～12 月) ・翌年度職員体制検討(12 月～2 月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇上位施設基準の取得・維持(磐井 7 対 1 入院基本料の取得:19 人増、中央:11 人増) ◇事故欠補充率の向上(看護:110%→118%) ◇医療社会事業士の増員(26 人→29 人) ◇次期計画策定のための人員配置(経営管理課増員:1 人) ◆被災病院の再建に向けた人員の配置(建築職)

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成25年度取組内容

重点取組項目	平成25年度取組内容 (下線は25年度新規項目)	平成24年度																																																													
		取組内容(第3四半期まで)	成果と課題(◇成果・◆課題)																																																												
(3) 収支均衡に向けた取組み																																																															
6-(3)-① 収益の確保 【医事企画課】 【経営管理課】	<p>○機能分担と連携強化(各病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立病院及び開業医との連携強化 ・急性期病院等を中心とした紹介・逆紹介の推進 ・各病院の役割及び機能に応じた平均在院日数の適正管理 <p>○平成26年度診療報酬改定への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・改定に関する情報収集及び情報共有 ・診療報酬改定説明会等による情報提示(3月) <p>○DPC等収支分析の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DPC担当者会議(2回) ・診療単価分析等の実施(毎月資料提供) ・DPC病院の全国ベンチマーク分析(コンサルティング)(9～12月) <p>○診療単価増の取組強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病院届出施設基準の情報共有による届出漏れの防止・不足要件の整備検討(担当者会議)(4～6月) ・指導管理料のベンチマークによる算定強化(毎月資料提供) ・医事業務指導による適正算定の強化(5～9月) ・医事業務委託業者との連携、定期打合せによる指導管理料等の診療報酬や利用料に係る適正算定、精度管理の強化(年3回) ・再審査請求実施による査定減防止促進(毎月資料提供) ・看護部門との連携等による特別室・重症室の利用促進及び算定率向上(医事経営課長等会議) <p>○7対1看護体制の導入検討</p> <p>○未利用資産の状況調査及び売却等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未利用資産の状況調査 ・売却可能な不用資産の掘り起こし(5月) ・売却方針決定後、入札及び先着順による売払いの実施 <p>【数値目標】</p> <table border="1"> <tr><td>入院単価</td><td>42,036円(25年度当初予算)</td></tr> <tr><td>基幹病院</td><td>50,008円</td></tr> <tr><td>基幹病院以外</td><td>21,618円</td></tr> <tr><td>外来単価</td><td>11,435円(25年度当初予算)</td></tr> <tr><td>基幹病院</td><td>12,812円</td></tr> <tr><td>基幹病院以外</td><td>8,399円</td></tr> <tr><td>稼働病床利用率(一般・療養)</td><td>80.2%(25年度当初予算)</td></tr> <tr><td>平均在院日数(一般病床)</td><td>13.7日(25年度当初予算)</td></tr> <tr><td>基幹病院</td><td>12.8日</td></tr> <tr><td>基幹病院以外</td><td>20.3日</td></tr> <tr><td>紹介率(基幹病院)</td><td>41.6%(経営計画)</td></tr> <tr><td>逆紹介率(基幹病院)</td><td>33.0%(経営計画)</td></tr> </table>	入院単価	42,036円(25年度当初予算)	基幹病院	50,008円	基幹病院以外	21,618円	外来単価	11,435円(25年度当初予算)	基幹病院	12,812円	基幹病院以外	8,399円	稼働病床利用率(一般・療養)	80.2%(25年度当初予算)	平均在院日数(一般病床)	13.7日(25年度当初予算)	基幹病院	12.8日	基幹病院以外	20.3日	紹介率(基幹病院)	41.6%(経営計画)	逆紹介率(基幹病院)	33.0%(経営計画)	<p>○平成24年度診療報酬改定への早期対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4/23～24 医事経営課長等会議の開催 ・指導管理料等の比較表の作成送付及び算定件数の少ない病院への体制等確認の実施 ・施設基準の取得及び算定に係る各病院の体制確認 ・7/23 施設基準担当者会議開催 ・指導管理料等の比較表の作成送付及び算定件数の少ない病院への体制等確認の実施 ・施設基準の上位取得及び適正管理体制の継続確認 ・12月医事業務指導後のフォローアップ5病院実施 <p>○診療単価増の取組強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基幹病院比較表の作成及び各病院への提供 ・指導管理料等の比較表の作成送付及び算定件数の少ない病院への体制等確認の実施 ・施設基準の取得及び算定に係る各病院の体制確認 ・7/30DPC担当者会議実施 ・DPCベンチマーク分析の実施(9月2病院、10月1病院、11月4病院、12月2病院) ・7/23 施設基準担当者会議開催 ・指導管理料等の比較表の作成送付及び算定件数の少ない病院への体制等確認の実施 ・施設基準の上位取得及び適正管理体制の継続確認 ・基幹病院比較表の作成及び各病院への提供継続(一部見直し等) ・査定減への取組通知(情報共有などによる対策の取り組み) ・再審査請求状況の情報共有による実施促進 ・12月医事業務指導後のフォローアップ5病院実施 <p>○未利用資産の売却等の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各病院の未利用公舎用地状況調査実施(5月) ・7月実施予定の入札を取止め <p>【数値目標】 (数値目標) (実績 H25.1 末)</p> <table border="1"> <tr><td>入院単価</td><td>39,218円</td><td>41,911円</td></tr> <tr><td>基幹病院</td><td>46,217円</td><td>49,970円</td></tr> <tr><td>基幹病院以外</td><td>21,202円</td><td>21,296円</td></tr> <tr><td>外来単価</td><td>10,772円</td><td>11,424円</td></tr> <tr><td>基幹病院</td><td>11,936円</td><td>12,783円</td></tr> <tr><td>基幹病院以外</td><td>8,248円</td><td>8,394円</td></tr> <tr><td>稼働病床利用率(一般・療養)</td><td>79.5%</td><td>76.2%</td></tr> <tr><td>平均在院日数(一般病床)</td><td>14.2日</td><td>13.4日</td></tr> <tr><td>基幹病院</td><td>13.5日</td><td>12.6日</td></tr> <tr><td>基幹病院以外</td><td>190日</td><td>19.6日</td></tr> <tr><td>紹介率(基幹病院)</td><td>40.4%</td><td>37.6%</td></tr> <tr><td>逆紹介率(基幹病院)</td><td>31.6%</td><td>28.3%</td></tr> </table>	入院単価	39,218円	41,911円	基幹病院	46,217円	49,970円	基幹病院以外	21,202円	21,296円	外来単価	10,772円	11,424円	基幹病院	11,936円	12,783円	基幹病院以外	8,248円	8,394円	稼働病床利用率(一般・療養)	79.5%	76.2%	平均在院日数(一般病床)	14.2日	13.4日	基幹病院	13.5日	12.6日	基幹病院以外	190日	19.6日	紹介率(基幹病院)	40.4%	37.6%	逆紹介率(基幹病院)	31.6%	28.3%	<p>◇施設基準新設項目の届出 244 件(～H25.1)</p> <p>◇施設基準担当者会議、DPC担当者会議にて収益確保や分析に関する情報提供・情報共有</p> <p>◆H26年度診療報酬改定に向けた情報収集や対応の検討</p> <p>◆売却済の公舎跡地から医療系廃棄物が出土したため、売却を取り止めており、今後の売却方針の決定が課題</p>
入院単価	42,036円(25年度当初予算)																																																														
基幹病院	50,008円																																																														
基幹病院以外	21,618円																																																														
外来単価	11,435円(25年度当初予算)																																																														
基幹病院	12,812円																																																														
基幹病院以外	8,399円																																																														
稼働病床利用率(一般・療養)	80.2%(25年度当初予算)																																																														
平均在院日数(一般病床)	13.7日(25年度当初予算)																																																														
基幹病院	12.8日																																																														
基幹病院以外	20.3日																																																														
紹介率(基幹病院)	41.6%(経営計画)																																																														
逆紹介率(基幹病院)	33.0%(経営計画)																																																														
入院単価	39,218円	41,911円																																																													
基幹病院	46,217円	49,970円																																																													
基幹病院以外	21,202円	21,296円																																																													
外来単価	10,772円	11,424円																																																													
基幹病院	11,936円	12,783円																																																													
基幹病院以外	8,248円	8,394円																																																													
稼働病床利用率(一般・療養)	79.5%	76.2%																																																													
平均在院日数(一般病床)	14.2日	13.4日																																																													
基幹病院	13.5日	12.6日																																																													
基幹病院以外	190日	19.6日																																																													
紹介率(基幹病院)	40.4%	37.6%																																																													
逆紹介率(基幹病院)	31.6%	28.3%																																																													

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成25年度取組内容

重点取組項目	平成25年度取組内容 (下線は25年度新規項目)	平成24年度																
		取組内容(第3四半期まで)	成果と課題(◇成果・◆課題)															
6-(3)-②-ア 費用の効率的執行 《職員給与の適正化》 【職員課】	<ul style="list-style-type: none"> ○給料の特別調整額の減額措置継続(25年度時限措置) ○医師に係る超過勤務手当見直し(定額⇒実績額)に伴う経過措置の実施(～25年度) ○超過勤務縮減の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・36協定の継続 ・時間外勤務に関する考え方を職員に周知(パンフ配付等) ・管理監督者研修や各種会議において、管理監督者等に対し勤務時間管理の考え方を周知 ・病院訪問調査による勤務時間管理指導等 <p>【数値目標】 給与費対医業収益比率 61.0%(当初予算)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○超過勤務縮減の取組 <ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務縮減への取組み趣旨等を管理監督者研修等で周知(7/11) ・四半期ごとに超勤状況通知を発出し、超過勤務縮減への取組み周知 ・超過勤務実績を基に病院と改善協議、訪問調査等を実施(7/19高田) ・36協定に関する是正勧告に回答(9/20一関労基署) ・25年度以降の36協定の取扱い変更(病院毎に締結)及び医師の長時間労働の抑制等について全病院長会議(11/2)及び事務局長・総看護師長会議(11/16)で周知 ・36協定締結に必要な職員の過半数代表者選出等要綱の制定(12/13) ・同説明会の実施(12/20) <p>【数値目標】 給与費対医業収益比率 60.7%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇給料の特別調整額の減額措置(△1,300万円/年) ◇医師超過勤務手当見直しに伴う経過措置の継続実施 ◇医師超過勤務手当定率支給者(H24.12月現在71人) ◇超過勤務の取組み <ul style="list-style-type: none"> ・36協定の継続(過半数代表者選挙実施及び病院等ごとの36協定締結) ◆長時間労働(100時間超職員)の解消 															
6-(3)-②-イ 費用の効率的執行 《材料費の抑制(薬品)》 【業務支援課】	<ul style="list-style-type: none"> ○後発医薬品の使用拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・推奨後発医薬品の品目追加設定(10、3月) ・バイオシミラー(後発生物製剤)の導入推進 ○医療局一括契約の定期的な価格交渉による薬品費の縮減 <ul style="list-style-type: none"> ・自治体病院協議会ベンチマークシステムの利用(四半期毎) ・自治体病院共済会等の利用促進 ・後発医薬品専門の新規卸業者追加検討 <p>【数値目標】 ・薬品費対入院外来収益比率 17.2%(税込) ・後発医薬品使用割合(数量)35.0% (品目)23.4% (購入額)10.6%(税抜)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○後発医薬品の使用拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・医療局薬事委員会で推奨後発医薬品19品目決定(9/24)⇒10/12通知 ・ラジカット注の後発医薬品への切替80%以上：年間効果1.2億円(推計) ・全自病協ベンチマークシステム9月分データ登録 ・共済会等11月末累計利用35,300万円：効果1,430万円(4.1%) ○一括契約価格交渉(8/7⇒9～12月、12/4⇒1～3月) 値引率税抜4月10.15%→1月11.52%推計 ○全自病協「薬の値引き交渉術」勉強会(10/10、東京) <table border="1"> <thead> <tr> <th>【数値目標】</th> <th>(目標)</th> <th>(実績)12月現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・薬品費対入院外来収益比率(税込)</td> <td>17.7%</td> <td>17.2%</td> </tr> <tr> <td>・後発医薬品使用割合(数量)</td> <td>32.0%</td> <td>33.9%</td> </tr> <tr> <td>(品目)</td> <td>20.8%</td> <td>22.7%</td> </tr> <tr> <td>(購入額)</td> <td>10.0%</td> <td>10.3%</td> </tr> </tbody> </table>	【数値目標】	(目標)	(実績)12月現在	・薬品費対入院外来収益比率(税込)	17.7%	17.2%	・後発医薬品使用割合(数量)	32.0%	33.9%	(品目)	20.8%	22.7%	(購入額)	10.0%	10.3%	<ul style="list-style-type: none"> ◇後発医薬品使用拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・追加設定(10、3月予定) ◇薬品費の縮減 <ul style="list-style-type: none"> ・一括価格交渉(10、3月) ・全自病ベンチマークシステム利用 ・自治体病院共済会等の利用
【数値目標】	(目標)	(実績)12月現在																
・薬品費対入院外来収益比率(税込)	17.7%	17.2%																
・後発医薬品使用割合(数量)	32.0%	33.9%																
(品目)	20.8%	22.7%																
(購入額)	10.0%	10.3%																
6-(3)-②-ウ 費用の効率的執行 《材料費の抑制(診療材料費)》 【業務支援課】	<ul style="list-style-type: none"> ○医業収益に対する診療材料の適正な購入・管理 <ul style="list-style-type: none"> ・SPDデータを活用した情報提供(毎月) ・使用実績の比較分析(四半期毎) ○使用材料の整理統一及び廉価購入 <ul style="list-style-type: none"> ・同種同効品の整理統一 ・SPDとの連携による廉価購入 ・病院スタッフと連携した診療材料価格削減の継続した取組の実施 ・医療局推奨品目の管理(見直し) ○特定保険医療材料の適正算定 診療報酬請求との突合による適正算定と管理 <p>【数値目標】 診療材料費対入院外来収益比率(税込) 9.54%(H25当初予算)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○SPD業者との単価契約 (6/29、7/31、8/31、9/28、10/31、11/30、12/28) <p>【数値目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(目標)</th> <th>(実績)12月現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療材料費対入院外来収益比率(税込)</td> <td>9.67%</td> <td>9.86%</td> </tr> </tbody> </table>	(目標)	(実績)12月現在	診療材料費対入院外来収益比率(税込)	9.67%	9.86%	<ul style="list-style-type: none"> ◇診療材料の使用実績の比較実績(7月) ◇SPDデータを活用した情報提供(10、11、12月) ◆SPDの活用方法の検討(連携の取り方、データの活用方法など) ◆SPD導入後の診療報酬請求との突合方法の検討 										
(目標)	(実績)12月現在																	
診療材料費対入院外来収益比率(税込)	9.67%	9.86%																

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成25年度取組内容

重点取組項目	平成25年度取組内容 (下線は25年度新規項目)	平成24年度	
		取組内容(第3四半期まで)	成果と課題(◇成果・◆課題)
6-(3)-②-エ 費用の効率的執行 《業務委託の検討》 【業務支援課】	<ul style="list-style-type: none"> ○業務委託の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・SPD業務委託の円滑な運営 ・調理業務委託の導入準備 ○業務委託導入後の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・業務量に応じた契約内容や契約方法の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> ○SPD業務委託の円滑な導入 <ul style="list-style-type: none"> ・病院職員へのSPD導入説明会開催 ・病院とのSPD導入打合せ ・SPD導入支援チーム設置 ・北部ブロックSPD運用開始(7/1) ・中部ブロックSPD運用開始(10/1) ・SPD運用開始病院フォローアップ ・SPD導入病院見学実施 ・SPDデータの揭示 ・SPD業者との定例打合せ開催 ・SPD広報「週刊SPD」発行 ・SPD関連規程改正検討 ・SPD運営業務仕様書作成(～6/21) ・診療材料調達先卸売業者決定 ・SPD運営業務委託契約締結(6/29) ・調理業務委託導入方法等検討(12/18局長協議) ・清掃業務委託内容の見直し(11～12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇SPD業務委託の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・SPD導入支援チーム会議開催(3回) ・中央及び北部ブロック運用開始(7月) ・中部ブロック運用開始(10月) ・南部ブロック運用開始(1月) ◇調理業務委託導入計画策定 <ul style="list-style-type: none"> ・導入方法等検討(12/18局長協議) ◇業務委託の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・清掃業務委託内容の見直し(11～12月) <p>◆調理業務委託導入に係る該当病院への説明及び通知方法等の検討</p>
6-(3)-②-オ 費用の効率的執行 《経費の節減》 【経営管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ○温室効果ガス削減の取組継続 ○各病院の省エネ・節電取組状況、エネルギー使用量の取りまとめ、各病院に情報提供 ○他県や他医療機関等の省エネに関する取組事例の情報の収集及び提供 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【数値目標】 温室効果ガス(CO2)削減: 年平均1.1%のエネルギー使用量の削減</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○各病院の省エネ取組状況調査等 <ul style="list-style-type: none"> ・エコマネジメントシステムに係る取組通知(5/28)毎月20日に前月実績を報告 ・省エネ法に基づく定期報告書作成依頼(6/1) ・節電にかかる取組依頼通知(6/7) ・省エネ法に基づく定期報告書及び中長期計画書等の提出(7/27) ・節電取組状況(電力量等の使用実績)の報告(8/17・9/15・10/15) ○中央病院の契約電力見直しによる電気料金の削減 (12/17変更契約締結:需給開始日1/1より) <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【数値目標】 温室効果ガス(CO2)削減: 年平均1.1%のエネルギー使用量の削減</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◇7～9月における使用電力量は対22年度比医療局全体で4.8%削減 ◇節電取組状況表を作成し、取組内容を他病院でも閲覧できるよう共有 ◇東和病院及び軽米病院の照明器具改修を完了(年度内) <p>◆節電に対する取組意識は震災以降、浸透しつつあるものの、節電のみではエネルギーの削減に限界があるため、ハード面での対応(照明のLED化等)も必要</p>

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成 25 年度取組内容

重点取組項目	平成 25 年度取組内容 (下線は 25 年度新規項目)	平成 24 年度													
		取組内容 (第 3 四半期まで)	成果と課題 (◇成果・◆課題)												
6-(3)-③ 個人未収金の縮減 【医事企画課】	<p>○病院全体の取組による発生防止、回収の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医事業務委託業者との連携による初動体制強化(随時) ・退院者の会計済確認及び休日等退院者への概算会計請求による退院日前収納の徹底 ・計画的かつ効率的な訪問回収の実施と強化月間等の設定による回収強化(5、12月) <p>○未収金管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人未収金状況報告書の作成による取組強化(毎月) ・患者以外の債務者確保と訪問回収、督促状の送付等による債権保全の徹底(随時) ・悪質な患者への法的措置の活用(随時) ・未収金償却処理等の手続きに関するガイドラインの運用による適正管理 <p>○医事担当職員のスキル向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議の開催、医事業務指導の実施(5～6月) ・医事業務ハンドブック及びメールリストの活用 <p>○支払いやすい環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレジットカード払、口座振替制度の利用促進 ・未収患者へのコンビニエンスストア払制度の利用促進 <p>○債権回収委託の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1件当たりの回収困難債権の委託額引下げによる滞納債権の縮減 <p>【数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過年度個人未収金残高 624,000 千円以下(H24 年度末残高以下) ・年度内個人未収金残高 対医業収益比率 4.6%以下(H24 比率以下) ・債権回収委託導入による回収額 5,000 千円 	<p>○病院全体の取組による発生防止、回収の徹底</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県滞納債権回収強化月間の取組(5月、11～12月) <p>○未収金管理体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月報(様式 39 号「未収金残高報告書」)による未収金残高報告実施(4月～) ・医事業務指導による未収金管理状況の把握、指導 ・回収対象債権チェック表、添付書類一覧作成(11/26) ・被災 3 病院の被災前未収金の連絡票作成(12/18) <p>○医事担当職員のスキル向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未収金担当者会議開催(7/6) ・医事業務指導後のフォローアップ5病院実施(12月) <p>○債権回収委託の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザルにより滞納債権回収業務委託契約候補者決定(6/28) ・滞納債権回収業務委託契約締結(7/31)、民間業者による債権回収業務の開始 ・来年度に向けた滞納債権回収業務委託対象債権の調査発出(12/6) <p>【数値目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>(目標)</th> <th>(実績)1月末現在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・過年度個人未収金残高</td> <td>640,000 千円以下</td> <td>642,244 千円</td> </tr> <tr> <td>・年度内個人未収金残高対医業収益比率</td> <td>4.6%以下</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>・債権回収委託導入による回収額</td> <td>5,000 千円</td> <td>4,506 千円</td> </tr> </tbody> </table>		(目標)	(実績)1月末現在	・過年度個人未収金残高	640,000 千円以下	642,244 千円	・年度内個人未収金残高対医業収益比率	4.6%以下	4.6%	・債権回収委託導入による回収額	5,000 千円	4,506 千円	<p>◇債権回収委託業者導入による滞納債権の減少</p> <p>◆回収困難債権の適正管理</p>
	(目標)	(実績)1月末現在													
・過年度個人未収金残高	640,000 千円以下	642,244 千円													
・年度内個人未収金残高対医業収益比率	4.6%以下	4.6%													
・債権回収委託導入による回収額	5,000 千円	4,506 千円													
7 地域連携と地域との協働による病院運営															
(1) 役割分担と機能連携の推進															
7-(1)-① 地域医療に関する取組への参画 【経営管理課】	<p>○圏域連携会議等への参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健所が主催する圏域連携会議等に参画し、新たな医療計画の置ける県立病院の位置付けや地域医療に関する取組を推進(随時) 	<p>○被災地域医療再生検討委員会への参加(再掲)</p> <p>釜石(5/16)、宮古(5/29)、気仙(5/30)</p> <p>○圏域連携会議等への参加</p> <p>気仙(8/1,12/18)、宮古(8/2,12/26)、釜石(8/7,12/25)</p>	<p>◇沿岸地域の保健所が主催する圏域連携会議等に適時出席し、被災病院再建について意見交換、情報提供</p>												
7-(1)-② 市町村との連携の推進 【経営管理課】	<p>○県立病院運営協議会を通じた市町村との意見交換等、連携の推進を図る(随時)</p>	<p>○県立病院運営協議会の再開通知(5/28)</p> <p>県立病院運営協議会再開に伴い、役割重複のため市町村連絡協議会の開催を見送り</p>	<p>◇県立病院運営協議会の再開に伴い、市町村連絡協議会は未実施</p>												
7-(1)-③ 地域連携バスの拡大 【業務支援課】 【医事企画課】	<p>○地域連携バス導入・推進の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルバス研修会の開催 	<p>○地域連携バスの基幹病院への導入推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリニカルバス作成状況調査から、地域連携バス使用状況把握 ・業務指導時パスライブラリー紹介 ・クリニカルバス推進委員会開催(8/7、11/20) 	<p>◇地域連携バス導入病院</p> <p>◇がん:中部、胆沢、磐井</p>												

「岩手県立病院等の新しい経営計画」重点取組項目 平成 25 年度取組内容

重点取組項目	平成 25 年度取組内容 (下線は 25 年度新規項目)	平成 24 年度	
		取組内容 (第 3 四半期まで)	成果と課題 (◇成果・◆課題)
(2) 地域との協働による病院経営			
7-(2)-① 広報活動の推進 【経営管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ○市町村の広報事業等を通じた情報提供(随時) <ul style="list-style-type: none"> ・診療案内、医療情報等の掲載依頼 ○「県民みんなで支える岩手の地域医療推進会議」と一体となった広報活動の実施(随時) ○ホームページの更新・活用(随時) <ul style="list-style-type: none"> ・医師、看護師等の募集、患者への情報提供の充実等 	<ul style="list-style-type: none"> ○県立病院運営協議会等の開催状況について県庁情報公開担当のホームページに掲載依頼(10/2) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇市町村広報誌等を通じた診療情報等の提供 ◇「県民みんなで支える岩手の地域医療推進会議」と一体となった広報活動の実施(ポスター、リーフレット) ◇ホームページによる情報提供
7-(2)-② 運営協議会等の開催 【経営管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ○県立病院運営協議会の開催(各基幹病院、局) <ul style="list-style-type: none"> ・新しい経営計画や県立病院の実態理解のため、運営協議会を開催 ○地域懇談会の開催(各病院等) <ul style="list-style-type: none"> ・各病院等の現状、課題等について、地域住民に情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○県立病院運営協議会の再開通知(5/28) <ul style="list-style-type: none"> 二戸(9/3)、宮古(9/7)、釜石(11/13)、久慈(11/27)、両磐(12/17)、岩手中部(12/19) ○地域懇談会【各病院毎】 	<ul style="list-style-type: none"> ◇東日本大震災後の状況変化や新しい経営計画の策定を見越し、改めて県立病院の実態を理解してもらうため、県立病院運営協議会を再開 ◇各病院等の現状や課題等を地域住民に情報提供するため、地域懇談会を開催
7-(2)-③ ボランティアとの協働 【経営管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ○病院ボランティアの受入推進(随時) <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動が継続的に実施されるよう受入体制、支援内容の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ○ボランティア受入れ状況調査(8/24) <ul style="list-style-type: none"> ・地域診療センターを含む 26 病院のうち 20 病院において受入れ(77%) ・ボランティア団体の組織化は 20 病院のうち 12 病院で組織化(60%) ・調査結果については、各病院周知済(9/20) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇病院ボランティア調査の結果を病院に周知し、受入体制整備の参考とした
7-(2)-④ 病院等施設の空きスペースの活用 【経営管理課】	<ul style="list-style-type: none"> ○沼宮内地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> ・岩手町と医療法人との協議状況について情報収集(随時) ○紫波地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> ・通所リハスペースのデイスサービス活用について紫波町と協議(随時) ○住田地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療対策協議会(住田町主催)への参加等による情報収集(随時) ○大迫、九戸、花泉地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> ・併設特養の経営状況の把握(随時) 	<ul style="list-style-type: none"> ○大迫地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> ・覚書締結(4/1) ・医療器械・備品譲渡契約締結(4/1):4/27 引渡完了、6/25 売買代金収納 ○九戸地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> ・公有財産賃貸料起算日承認(4/4):特養開設認可日を賃貸料起算日とする ・改修工事完了(4/13) ・特養ホーム開所に係る関係者打合せ(6/25) ・公有財産転貸承認(6/26) ・覚書締結(6/29) ・医療器械・備品譲渡契約締結(7/5) ・特養開設認可(7/11) ・特養ホーム「おりつめの里」開所(7/17) ○花泉地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> ・覚書締結(4/1) ・公有財産賃貸借変更契約締結(4/23) ○沼宮内地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> ・岩手町と支援策に係る協議(8/2)、情報収集(11/5) ・医療法人日新堂の医師不足のため、民間移管に係る町と医療法人との調整に進展がみられない。 ○紫波地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> ・紫波町とデイスサービスセンター改修等について協議(11/22) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇大迫、九戸及び花泉地域診療センターの空きスペースを活用し、特別養護老人ホームが開所 ・大迫地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> H24 年 4 月 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム結いの郷(社会福祉法人大迫、旧大迫病院入院棟、29 床)開所 ・九戸地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> H24 年 7 月 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホームおりつめの里(社会福祉法人九戸福祉会:2階 29 床)開所 ・花泉地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> H24 年 4 月 <ul style="list-style-type: none"> 特別養護老人ホーム花いずみ(社会福祉法人二桜会:2階 29 床)開所 ◆沼宮内地域診療センター <ul style="list-style-type: none"> 医療法人日新堂の医師不足のため、民間移管に係る町と医療法人との調整に進展がみられない